

佐用姫の素性と出身地（1/2）

～佐用姫ってどんな人?!～

■佐用姫の素性

佐用姫の素性について、『肥前風土記』（713年）の「松浦の条」によれば、「・・・即ち、篠原村ノ弟日姫子（おとひめこ）ヲ娉（つまどい）ヒテ婚（まぐわ）イヲ成セリ。日下部（くさかべの）君ノ祖（おや）也。容貌美麗（かほきらきら）シク特（こと）二人間（ひと）二絶（すぐ）レタリ。・・・」とあり、名門日下部氏の娘でとても美人であったとしている。

この『風土記』（713年）では、弟日姫子、その後の『万葉集』（～760年）以降では、佐用姫となっている。

■佐用姫の出身地は

松浦佐用姫は、どこの出身地であったろうか。その前に、佐用姫は、果たして実在の人物であったろうか。このことについては、後の項で大伴の系図が示しているように、大伴狭手彦が実在の人物であったことから、この貴公子が松浦の乙女と恋仲になったとしてもおかしくないし、このことから、佐用姫が実在の人物であったろうとしてもおかしくない。さて、「・・・篠原村ノ弟日姫子（佐用姫）・・・」であるが、その出身地として、いろいろ説があるが、ここでは、よく言われている4か所について、述べてみる。

第1は、巖木町大字瀬戸木場の長者原付近。

巖木町瀬戸木場に篠原と笹原と唱ふる地がある。

又、瀬戸木場の中、女山の山麓、草原の地に、「長者原」という所があり、佐用姫はその土地の長者の娘という。

また、狭手彦の出発にあたり、佐用姫や一族の者が名残を惜しんだという「名残り坂」、当時の役人がいた「役人平」などの地名がある。このことから、自他ともに是認しているが、距離的には、瀬戸木場から船出の準備をする玉島川川口までは、20数キロメートルの奥まった地で疑問点はある。

第2は、七山村藤川の芝原である。

ここにおいても、昔から長者屋敷の跡であると、土地の人々は、古来言い伝えてきている。「芝原」は、「篠原」の訛りだと。

また、同地には、「ナゴリ」の訛った「なめり」や「なめり坂」という地名も現存している。ここ七山から、玉島川口までは、数キロメートルの近距離にて、しかも、下り坂にて十分考えられる。

～2/2へつづく～

分野 歴史

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『巖木町史』 P190
- ◆『浜玉町史』
- ◆『肥前風土記』
- ◆『古代の中原遺跡～解き明かされる鏡の渡し～』
2005国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所・佐賀県教育委員会

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

佐用姫の素性と出身地（2/2）

～佐用姫ってどんな人?!～

～1/2からつづく～

第3は、鏡山麓周辺である。

考古学的見解や幕末の叡木の学者、秀島鼓溪による説。鏡山周辺の村のうち、「ハラ」「ハル」とつく所は、「原（はる）」と「中原（なかばる）」以外にはなく、「篠原村」とあうような地名はないが、多くの学者は鏡山周辺説を挙げている。

それに、弟日姫子の行動からも、鏡山周辺の土地の豪族の娘であろうと考えられる。特に、「日下部氏」が祖（おや）という由緒ある名門の出であり、昔、鏡山の南に佐用姫の墓と言われた古墳もあったことなど。更に、狭手彦が駐留にあっては、それを収容できうる施設が必要となると、この付近には大集落があったこと。

また、船出に際し、海辺に近いことなどの理由による。近年、平成11年9月29日（資料：古代の中原遺跡）西九州道路を造るため、その用地の中原より、日下部という文字の記された木簡がでて、この地に日下部氏の存在が明らかとなり、佐用姫の鏡山周辺説は一層現実みをおびている。

第4は、浜玉町座主（ざす）である。

平原の座主の殿原寺は、この寺が佐用姫の屋敷跡であるという物語を伝えている。

佐用姫は狭手彦を見送ったのち悲しみの余り病になり家人の看病のかいもなく亡くなった。家人は、佐用姫の悲しみを思いやり、屋敷の庭にあった椿の木を根本から掘り出し、それで佐用姫の姿を写しとった観音像を刻み、佐用姫の菩提を弔ったという。

この観音像は、いつの時代からか佐用姫観音、または、根木（ねぎ）観音と呼ばれ、特に、安産に靈験あらたかとして、信仰されるようになったという。

分野 歴史

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『叡木町史』
- ◆『浜玉町町史』 P248
- ◆『肥前風土記』
- ◆『古代の中原遺跡～解き明かされる鏡の渡し～』
2005国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所・佐賀県教育委員会

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html